

平成27年度「土砂災害・全国防災訓練 ～普段の備えが、命を守る～」の実施結果

・平成26年8月の広島市での土砂災害を教訓に、全国の土砂災害警戒区域等の住民に対し、出来るだけ多く参加を呼びかけ、避難訓練、情報伝達訓練等を実施。全国で過去最大の約57万人(1,336市町村)が参加しました。

平成27年度総合防災訓練大綱より

6月(土砂災害防止月間)を中心に、関係地方公共団体等と連携し、全国の土砂災害警戒区域等で、住民参加による避難訓練、情報伝達訓練等を実施する。

- ◆実施日 平成27年6月7日(日)・土砂災害防止月間(6月) ほか
- ◆実施主体 市町村、都道府県、消防庁、国土交通省
- ◆参加機関 住民、自主防災組織、砂防ボランティア、警察、消防、市町村、都道府県、国 等
- ◆訓練のポイント
 - ①より多くの住民等が参加した実践的な避難訓練等の実施
 - ②土砂災害警戒情報を活用した避難勧告等の伝達訓練
 - ③要配慮者、要配慮者利用施設の管理者、避難行動要支援者等による避難訓練
 - ④ハザードマップ等を活用した避難訓練 等
- ◆実施規模 昨年8月の広島市での土砂災害を教訓に、全国の土砂災害警戒区域等の住民に対し、出来るだけ多く参加を呼びかけ、避難訓練、情報伝達訓練等を実施



外国籍を含む住民等による避難訓練
さがけん とすし (佐賀県鳥栖市)



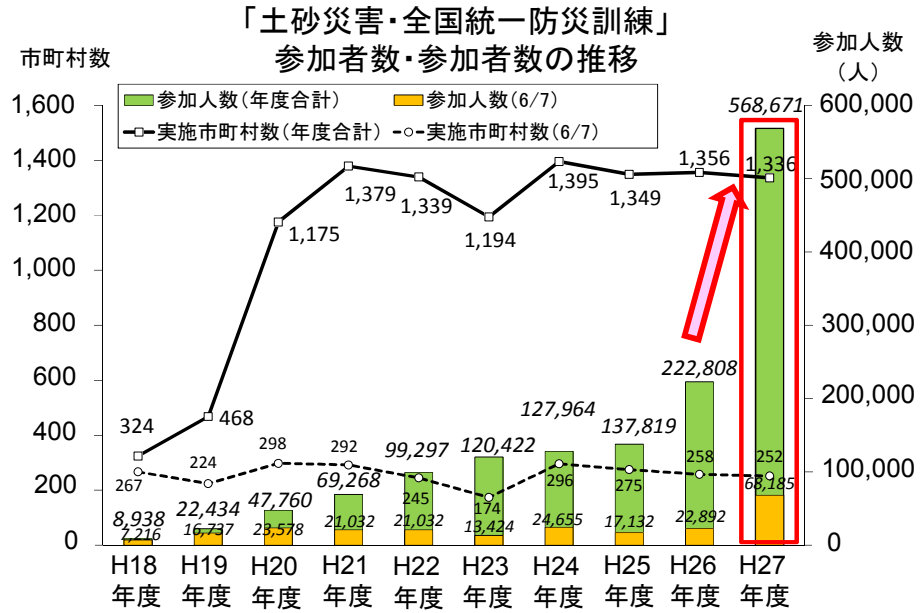
自主防災組織を主体とした避難訓練
ひろしまけん ひろしまし (広島県広島市)



夜間を想定した避難訓練
おおさかふ いずみし (大阪府和泉市)



在宅の要配慮者への避難支援
さいたまけん かみかわまち (埼玉県神川町)



【実施例①】
さがけん とすし
佐賀県鳥栖市外5市町
・外国籍を含む地区住民等が多数参加し、避難訓練等を実施。
(地区住民、消防、警察、病院等 1,500名が参加。)

【実施例②】
おおさかふ いずみし
大阪府和泉市外4市町
・昨年8月の広島市での土砂災害を教訓として、土砂災害危険箇所等における夜間の集中豪雨を想定し、ハザードマップ等を活用した避難訓練を実施。
(地区住民、消防団、駐在所 383名が参加。)